

雪印のサイロビニールの規格と価格

電略	品名	規格	価格	参考事項
イト	サイロカバー	横 7.5尺 × 縦 7.5尺	410円	コンクリートサイロ 直径6尺用
イチ	〃	9尺 × 9尺	590円	7尺~8尺用
イリ	〃	10.5尺 × 10.5尺	820円	9尺用
イル	〃	12尺 × 12尺	1,060円	10尺用
カツ	角型サイロ	横 4.5尺 縦 13尺 深 5尺	3,600円	容量約1,000貫
カナ	〃	4.5尺 9尺 4尺	2,400円	〃 600貫
カラ	〃	4.5尺 4.5尺 3尺	1,300円	〃 200貫

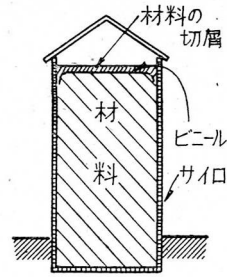
電略	品名	規格	価格 (1ヤール)	参考事項
ケイ	サイロビニール原反	0.13耗 × 4.5尺	112円	色ダークグレー
ケロ	〃	0.13耗 × 3.1尺	80円	〃
ケハ	〃	0.1耗 × 4.5尺	90円	〃
ケニ	〃	0.1耗 × 3.1尺	64円	〃
テケ	サイロテープ	38耗 × 10米	160円	強接着力を有す

送料 サイロカバー1枚75円 角型サイロ1組120円

原反 10ヤール迄50円 50ヤール迄150円

30ヤール迄120円 50ヤール以上着払

第2図



後、残つた層の青刈トウモロコシや野草等をカ

ッターで吹き上げ、よく踏圧して厚さ一五(二〇糶(五~六寸)程度詰込みして殆ど沈下しなくなる迄一~二日おきに周囲を踏みつけます。

以上サイロビニールの利用について申し上げますが、これらの利用に便利なように、雪印種苗では次に表示したような規格のサイロカバー、トレンチ(角型)サイロ及びサイロ用ビニール原反並びにサイロ用ビニールテープを取扱っておりますので何卒御利用下さい。(牧草と園芸編集部)

球根の掘上げと貯蔵

—ダリアとグラジオラス—

十月に入つて初霜が見られる頃から、ダリアやグラジオラスなど夏から秋に咲いた球根の掘上げがはじめられる。次に、これら球根の掘上げと貯蔵についてその要領を述べてみよう。

ダリア

ダリアはきわめて霜に弱い植物であつて降霜があると上方の葉がゆられたようにぐつたりと垂れ下がつてしまつて全く觀賞に堪えられぬようになつてしまふ。こうなつたら、その後晴天の日を見定めて、午前中に掘上げにとりかかる。この作業は、遅れても地表の凍結が見られないうちにしなければならぬ。したがつて、都合で作業が遅れ十月下旬になり、凍結の危険がある場合は晴雨にかかわらず掘上げてしまふ。

まず一般には支柱が与えられているから、これを取り去り、次に地上部四~五寸のところを茎を切り去つてしまふ。次いで茎の基部から一尺位離れたところに四方からスベードを挿し込み、静かに根株を起せば根が緩むから、次に手で茎の部分を掴み、引き上げる。土が軽く乾いている場合はわずかに振ると容易に土が球根から離れ落ちるが、土が湿つていたり重い土である場合には土が容易に脱落しないから、手で球の

間の土を掻き取つてやる。あまり強く振ると球が根首から折れてしまふから注意しなければならぬ。このようにして大体土を落したなら半日くらい日光に当てて球の表面をさつと乾かす。球が萎びて表面に皺が寄るほど乾してはいけない。また一法としては株の数が少なくないに作業ができる場合とか、土が重粘でなかなかとれない場合には、水道の水をホースで吹きつけ、附着している土をすつかりきれいに取り去つた後、表面をさつと乾かしてもよい。

さてこのようにして球根が多数ついている根株の準備ができたならば、次にはこれを翌春まで安全に貯蔵することになるわけであるが、この貯蔵が少々技術を要するところ、下手をすると春取り出して見たら腐つてしまつていたり、あるいは乾涸びていたりする結果となる。

ダリア球根貯蔵の要点は、次の三点に尽きる。すなわち (1) 球を凍らせないこと (2) 球を乾涸びさせないこと (3) 球を徹らせないことである。

これらの要点につき、さらに詳しく述べてみよう。まず球根を凍らせることは絶対に避けなければならない。貯蔵の最適温は摂氏七度付近であつて、この温度の場合球は最も細菌に対する抵抗力が強く、また呼

吸による養分の消耗が少ないため安全に経過する。次に乾涸びさせないためには温度を必要以上に上げないことと湿り気をよく保つために鋸屑、泥炭屑、清潔な土（畑の二尺くらいの下層土を用いればよい）など

のいずれかを豊富に充填物として用いればよい。鋸屑であれば重量で三〇%くらい水分を含ませたものを用いる。水分の発散を防止するためにビニール布などで容器を密閉することは球の腐敗を招くからいけない。以上の二点がうまくゆけば球根はまず順調に貯蔵されるが、さらに貯蔵中に球根、とくに大切な芽の発すべき根首に近い茎の部分が腐れたり、黴がついて芽をダメにしたたりすることがよくあるが、これに対する策としては、貯蔵に先立つて根首の部分にアラサンなどの殺菌剤粉末を撒布してやる。なお貯蔵中根株の位置を上下転倒して、茎の方を下にしてやると腐敗防止の効果があがる。

さて要点は以上のごとくであるが、では実際にはどのようにして行つたらよいかという点につき一般家庭での貯蔵法につき述べてみよう。まず前述の根株には必ず品種名を墨記した木札をつける。この木札には針金の紐をつけ、これを根株の茎の部分に錐穴をつけてここに通しておく。このように準備された根株を石油箱か、りんご箱のような木箱に鋸屑を充填物として詰める。鋸屑は新鮮なものを用いないで、春に入手しておいたものを真夏に一度薄く拡げて天日に晒し風化させたものがよい。使用に先立つてこれに水を打ち、二〜三割の水分を

持たせ、さつと湿つた程度にして用いる。木箱の隙間から鋸屑がこぼれる恐れがあつたならば箱の内面に新聞紙を敷けばよい。

根株の格納が終ればこれを適当のところにおくわけであるが、どの家庭でもその建物の中に冬中絶対に零下の温度に下がらないという場所は一方所くらないはあるものである。たとえば天井裏とか、ストープを焚いている部屋に挟まれた押入れの中とか、棚上、あるいは簗などである。これらの中でも適当なのは凍らぬ限り温度の変化の少ないところであつてストープを焚いている部屋の隣りの部屋の棚上、あるいは押入れなどがよい。このような場所に格納箱をおき春まで待つわけであるが、植込の五月までは七〜八月月もあるから、充填物や新聞紙包装などを用いてあつてもその長い間には相當の乾燥が見られるものであつて、したがつて中間で必ず一度ないし二度箱を開けて中の乾燥状態を改めてみるだけの面倒をかけてやる。すなわち球根に触つてみて柔かみが出ていて、表面に黴が入つていようであつたならば、鋸屑の湿りを補つてやる。ダリアの球根は一度萎びたら再び元へ戻らないから、球を水に浸すことは何ら効果的ではない。それ以上萎びないよう鋸屑を湿らすのである。次にこの時に根株に黴の発生の徴候があつたならば、その部分にアラサンを撒粉しておく。この程度の注意を払つてやれば、どの家庭でも球根貯蔵に成功するものである。

春四月頃になつたら包装の箱を解き、中の根株を取り出す。球のつけ根の上部付近

に芽が小さな突起となつて識別されるから、この芽を必ず一個以上つけた球となるように根株を割つてゆく。球の表面には忘れずに品種名を墨記する。割つた面には木灰をまぶして腐敗を防ぐ。もし芽の突起が判然しないときは、湿つた鋸屑に入れたままにしておけば気温が緩むにしたがつて芽が動いて来るからその後球割りする。球割りが済んだら湿つた鋸屑を用いて箱内に並べた球根を包み、萎びさせぬようにして五月中旬の植込みまで待つ。

グラジオラス

つぎに、グラジオラスはやはり霜が降りる頃に掘り上げる。大きな球の部分に小さな球が多数ついているから、これを脱落させないよう、また球に傷をつけないようていねいに一球ずつ掘り上げてゆく。掘り上げたものは土を大体振り落とし、品種ごとに集め、次に地上部を球の上五分くらいのところまで切り離す。このようにして各品種ごとに浅い木箱に一〜二重ね程度に並べたならば屋内に取り込み急速に乾かしてしまふことが要領である。この乾燥が長びくと、球の表面の傷口から黴が入つて球を腐らせてしまふ。したがつてストープを焚いている部屋があつたら、その部屋に入れて乾かす。摂氏二五〜三〇度くらいで四〜五日のうちからからに乾かしてさしつかえない。冬期中の貯蔵は十分乾かしたまま行う。この点ダリアに比すればはるかに容易である。ただしダリア同様、凍らせることは絶対いけない。適温は四〜七度くらいで

ある。翌春、五月頃に取り出し老皮や土を落してきれいな球となるよう調整する。
(編集部)

雪たね同友会

の御案内

会員への御奉仕

- ◎一割引 各種種子、苗木、球根を小売価格の一割引いたします。
- ◎牧草と園芸 毎月一回月刊誌「牧草と園芸」をお送りいたします。
- ◎試作用種子 御注文の額に応じ、新品種その他お奨めでできる作物種子の試作用小袋を進呈いたします。
- ◎御相談 酪農及び園芸に関する相談に応じます。
- ◎農場見学 技術指導が受けられるほか、適時優先的にサービスを行います。

御入会の手続

- ◆雪たね同友会は随時入会できます。
- ◆入会希望の方は会費（一力年分二百円）を添えて御申込下さい。
- ◆会費が入金になると会員名簿に登載して月刊雑誌「牧草と園芸」及び会員番号を附した「会員証」を送ります。会員番号は会員である間は永久に有効です。
- ◆会費が切れますと会員の資格がなくなりますから、そのとき次年度の会費を引続き御送金下さい。